



2023年11月30日

## 株式会社オーエイプロトに対する 「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社オーエイプロト(本社:広島県東広島市、代表取締役会長 大坪 義彦)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2023年11月30日
融資金額	1億円
融資期間	7年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	次世代自動車部品試作品の売上比率向上
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(別紙2)を取得しております。

#### 2. 企業概要

会社名	株式会社オーエイプロト
所在地	広島県東広島市黒瀬町クリエイトパーク8番2号
代表者	大坪 義彦
業種	輸送機器製造業
事業内容等	自動車関連・新幹線・電車・農機具・重機等の試作及び製造量製品の製造

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。  
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社 広島銀行  
営業企画部 法人企画室  
TEL (082)247-5151 (代表)

## 「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

## ○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の2商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施</li> <li>・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年1回のレポートイングが必要</li> </ul>
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象</li> <li>・ 年1回のレポートイングが必要</li> </ul>

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取り組みの対外公表をご支援します。

## ○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと</li> <li>・ 外部レビュー※、年1回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施</li> </ul> <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと</li> <li>・ 年1回のレポートイングを実施</li> </ul>
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30百万円以上	
ご融資期間	2年以上（固定金利は10年以内）	1年以上（固定金利は10年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	

## 株式会社オーエイプロト 〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2023年11月30日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と株式会社オーエイプロト（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」という）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

### 1. 借入人とサステナビリティ

#### (1) 会社概要

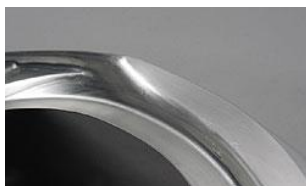
借入人は、自動車の総合試作メーカーとして、1964年に創業した会社である。広島県東広島市に本社を置き、自動車作りの基本となるプロトタイプモデルから、完成車の製作までを、一貫して手掛ける。借入人の、プロダクションシステムから生み出される数々の製品は、日本の新幹線500系の内装面や、建設機械のキャビンなどさまざまな分野で活躍している。その製品領域は今も拡大しつつあり、取扱製品は、自動車関連、新幹線、電車、農業器具、重機等と、多岐にわたる。借入人は、金型設計から組立までの一貫した試作が可能で、少量多品種の生産を得意としている。また、「品質向上への強い意識と技術革新に挑戦し活発なオンリーワン企業を目指す」を経営理念としており、2000年にはISO9001を取得。事業活動の品質・安全性についてチェックする手順・体制の構築や、不具合発生時の対応の整備など、高い品質管理体制の構築を徹底している。



借入人本社



借入人本社工場



借入人製造商品



(借入人HPより抜粋)

## (2) サステナビリティ

借入人は、環境問題に取り組むことが企業の社会的責任（CSR）であることを認識し、2002年にISO14001を取得。産業廃棄物の適切な処理・削減に向けた取組み、3Rの推進、エネルギー使用量の把握と削減に向けた取組み、再生可能エネルギーの活用など、経済産業省公表項目に合致した取組みを徹底し、人類の未来を創造する企業づくりを目指している。

また、従業員が心身ともに健康で働き続けることができる会社を目指し、「社員の健診結果及びそれに対するフォローのコメントを添えた健診結果票の配付」や、「社内でのスポーツイベントの開催」、「社内規定で定めているハラスメント禁止についての定期的な勉強会の開催」に取り組んでいる。

さらに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献し、地域課題の解決及び持続可能な社会の実現に努めるべく、2023年11月にSDGs宣言を行っている（以下参照）。



## 2. KPIの選定

### (1) KPIの概要

借入人はKPIとして、「次世代自動車※部品試作品の売上比率」を選定した。

※次世代自動車とは、ハイブリット自動車、電気自動車、プラグインハイブリット自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車、CNG自動車等をいう。

### (2) KPIの重要性

KPIは、環境に配慮した自動車に係る市場の拡大を通じて脱炭素化に向けた持続可能な社会の実現につながるため、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

### (3) 経営方針とKPIの関係

借入人は、前述のとおり「品質向上への強い意識と技術革新に挑戦し活発なオンリーワン企業を目指す」を経営理念としている。

また、前述のSDGs宣言の中で、4つの目標を掲げており、そのうちの一つとして「事業を通じた環境保全」を標榜し、事業活動を通じて、資源の保護と環境汚染の予防に努め、地域社会との共存を図ることで、持続可能な社会の実現に取り組むこととしている。

以上のとおり、本KPIである「次世代自動車部品試作品の売上比率」に取り組むことは、借入人がSDGs宣言に掲げる「事業を通じた環境保全」に資するものであり、借入人の経営方針と一致しており整合性があるといえる。

### (4) KPIの有意義性

継続的な温室効果ガスの排出により、人々や生態系にとって深刻で広範囲にわたる不可逆的な影響を生じる可能性が高まるといわれている。

この問題に対処するため、国際的には2015年のCOP21においてパリ協定が採択され、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べ2°C以下とし、可能な限り1.5°Cに抑えるという目標が設定された。

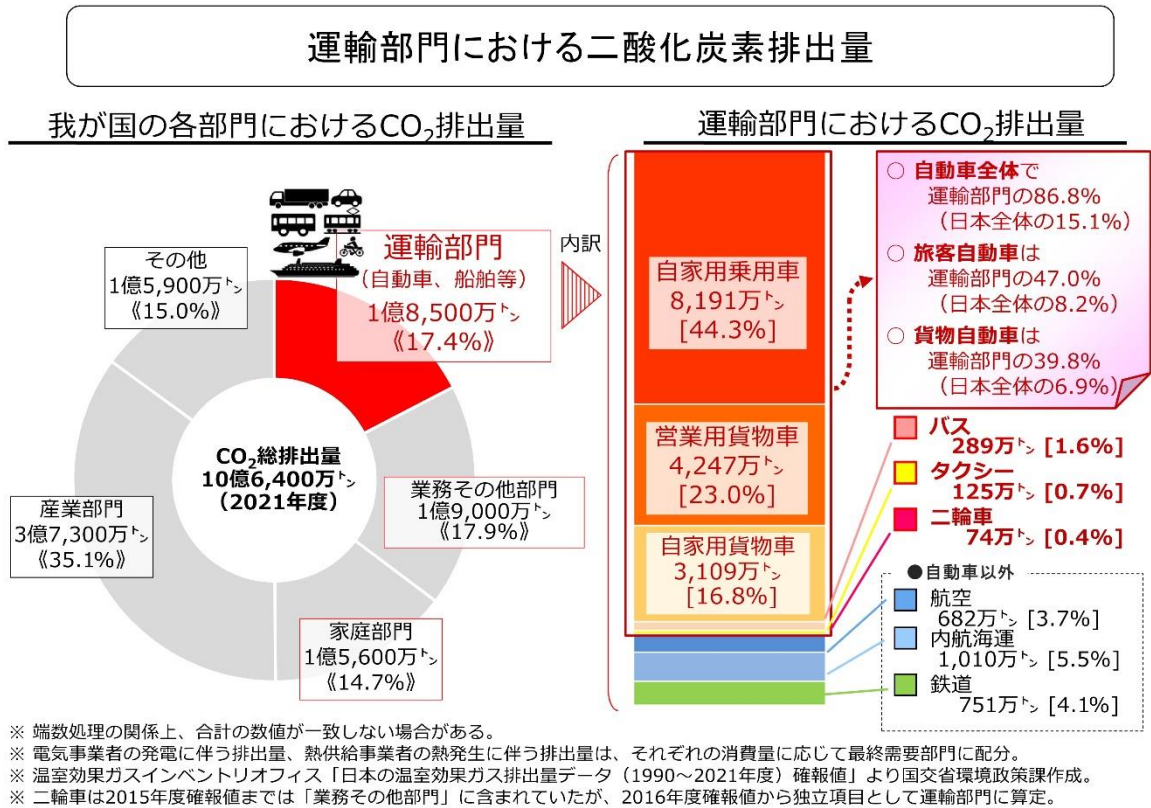
こうした中、我が国では、2020年10月の臨時国会において「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに自動車の脱炭素化の方法として、CASE ※のうちの「E」にあたる、「電動化」を推進することが挙げられている。

この目標を達成するためには、CASE 技術の開発と、社会実装を加速化させ、新たなモビリティ社会を実現していく取組みが重要となってくる。

※Connected(つながる)、Autonomous (自動化)、Shared&Service (利活用)、Electrification (電動化) の略



図表1



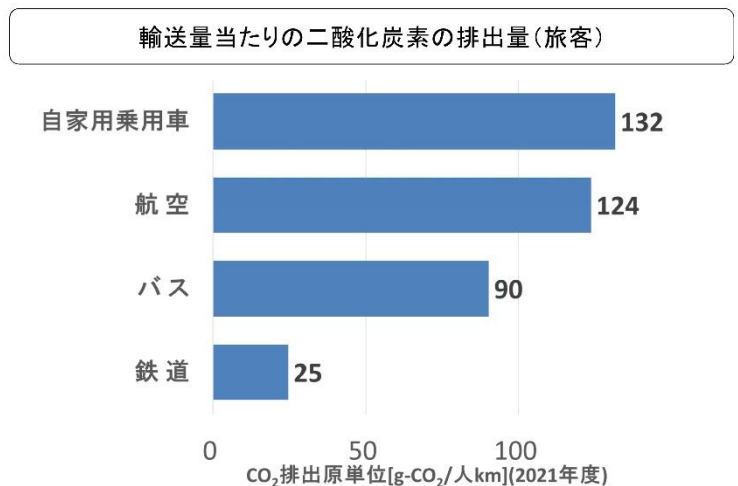
国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量 (2021)」抜粋

2021年度における日本の二酸化炭素排出量10億6,400万トンのうち、運輸部門からの排出量1億8,500万トンは全体の17.4%を占めている。

さらに、各輸送機関から排出される、二酸化炭素の平均的な排出量を比較すると、自家用乗用車の割合が最も高く占めており、二酸化炭素排出量の削減といった、脱炭素化への取組みの重要性が分かる。

こうしたことから、借入人が設定したKPI「次世代自動車部品試作品の売上比率」は、我が国の脱炭素化に向けた動きを加速化させ、目標設定に寄与するものであり、有意義なものであるといえる。

図表2



※ 温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量 (2021)」抜粋

### 3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）の測定

本ローンのSPT設定については、以下の（1）から（3）の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

#### （1）SPTの概要

借入人は、KPIとなる「次世代自動車部品試作品の売上比率」について、下表のとおり2023年度から2029年度にかけて35%以上とすることをSPTとして設定した。

#### 【借入人のSPT】

	2020年度 (3月期実績)	2021年度 (3月期実績)	2022年度 (3月期実績)	2023年度 (3月期)	2024年度 (3月期)	2025年度 (3月期)	2026年度 (3月期)	2027年度 (3月期)	2028年度 (3月期)	2029年度 (3月期)
売上比率	2.4%	1.9%	3.3%	20%	23%	26%	29%	31%	33%	35%

#### （2）SPTの野心性

図表3 各国の電動化目標

借入人のSPTは、ガソリン車部品の試作品製作が大多数を占める中、2029年度には2022年度比+31.7%と、過去の実績を大きく上回るかつ、我が国の2030年度EV・PHEV電動化目標20～30%を上回っており、野心的であるといえる。

一方で、国をあげたCASE への取組みによる時流により、受注が増えていく側面もあるといわれているが、借入人による積極的な顧客への営業活動を抜きにしては、これ以上の販路拡大は見込みにくい。

こうした状況下において、次世代自動車部品試作品の売上比率を2029年度までに35%に引き上げる本SPTは十分に野心的であるといえる。

	目標年度	目標	FCV	EV	PHEV	HEV	ICE
日本	2030	HV：30～40% EV・PHV：20～30% FCV：～3%	～3%	20-30%		30～40%	30～50%
	2035	電動車(EV/PHV/FCV/HV) 100%		100%			対象外
EU	2035	EV・FCV：100% (注) 欧州委員会発表		100%			対象外
米国	2030	EV・PHV・FCV：50%		50%		50%	
中国	2025	EV・PHV・FCV：20%		20%			
	2035	HEV50% EV・PHV・FCV：50% (注) 自動車エンジニア学会発表		50%		50%	対象外
英国	2030	ガソリン車：販売禁止 EV:50～70%		50-70%			対象外
	2035	EV・FCV：100%		100%			対象外
フランス	2040	内燃機関車：販売禁止		100%			対象外
ドイツ	2030	EV： ストック1500万台		ストック 1500万			

出典：公表情報をもとに経済産業省作成

経済産業省資源エネルギー庁「自動車の“脱炭素”のいま（前編）～日本の戦略は？ 電動車はどのくらい売れてる？～（2022年10月28日）抜粋

#### （3）SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

## 4. ローンの特徴

評価対象の「ローン特徴」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。

(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

## 5. レポーティング

評価対象の「レポーティング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

### (1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

### (2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

## 6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の設定」、「4. ローンの特徴」、「5. レポーティング」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。



## ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031  
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

## 留意事項

### 1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

### 2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

### 3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

### 4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。